

を会  
口南  
駅す  
田く  
町明

# 不法風俗街の根絶へ

## 市と議会に陳情

相模原市域に属するJR町田駅南口の通称「たんぼ」と呼ばれる風俗街で行われている不法・違法行為を根絶しようと、JR町田駅南口を明るく犯罪のない街にする連絡調整会（佐藤啓久座長）は六月中に小川市長と市議会に陳情を行った。

同地一帯は古くからの売春街で、風紀が悪く、駅利用者や買い物客が近寄るのが

をはばかることで知られている。このため、周辺の自治会、学校とPTA、青少年健全育成団体、防犯協会など四十二団体は昨年二月、同調整会を組織。売春などの違法行為を根絶することを目指す様々な活動を行っている。

こうした活動が効を奏し昨年八月には市と相模原南警察署が臨時警備出張所を

設置したほか、地権者も協力を申し出るなどの具体的な成果を上げている。

しかし店舗の数は減ったものの、今なお二十軒余りが店を開けており、不法営業の根絶へのめどは立っていない。

同連絡会は、こうした現状を改善するためには市に抜本的な対策を講じてくれるよう求めていくことが不

可欠として六月六日、佐藤座長ら代表者が一万二千四百人余りの署名を携えて小川市長に面会。市に根絶に向けた取り組みを積極的に進めよう陳情した。また、これに先立って市議会にも支援を求める陳情を行った。

これに対して小川市長は前向きな姿勢を示したといわれ、議会では陳情が民生委員会で採択され、二十七日の本会議でも採択される運びになっている。

佐藤座長は「土地の権利については複雑な問題もあるようだが、市のイメージアップと犯罪のないまちづ

くりのためにも、市が一日に取り組みよう期待している」と話している。



小川市長に署名を手渡す佐藤座長